

普及だより

きみつ

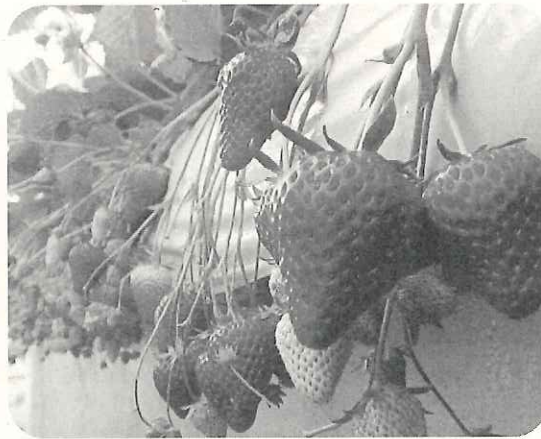
〒292-0833 木更津市貝渕3-13-34 TEL. 0438(23)0299
http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kimitsu/ FAX. 0438(23)6698

発行
千葉県君津農業事務所
君津地域農業改良普及事業協議会

編集
君津農業事務所
改良普及課



家族でいちご狩り



代表的な品種「紅ほっぺ」



環境にやさしい農業に取り組んでいます



いちごで笑顔

新しい視点と新しい世代で

取り組むいちご産地

成長する生産者と産地の魅力

君津地域のいちごは4市の農家・法人経営を合せて、およそ30園、約6haで生産されており、そのほとんどが直売や摘み取り園となっています。

全国的にいちごは品種の戦国時代と言われるほど、多くの品種が育成されており、君津地域のいちご園でも「紅ほっぺ」「とちおとめ」「章姫」等の様々な品種が導入されています。

近年は化学合成農薬に頼らない病害虫対策の取組みも始まっています。いちご栽培において深刻な被害を及ぼす「炭そ病」が発生しないようにベンチ育苗などを取り入れ、化学合成農薬の防除効果が低下した「ハダニ類」には天敵生物の「カブリダニ類」を活用し、環境にやさしいいちご栽培を行っています。

この数年は東京湾アクアラインや大型商業施設の効果もあり、君津地域はドライブルートとして注目を浴びています。いちご園も1月から5月のシーズンにはいちご狩りのお客様で盛況となっています。君津地域はベテランから若手の生産者まで層が厚く、他の産地に追いつけ追い越せと切磋琢磨しており、産地としての躍進が期待されます。

(藤城)

保存版

富津市相川・梨沢 イノシシ被害対策会の取組み

富津市の「相川・梨沢イノシシ被害対策会（会長：能城弘敏氏、会員104戸）」では、集落ぐるみでのイノシシ駆除対策に取り組んでいます。

当地域では約8年前からイノシシによる農作物被害が始め、個々の農家で電気柵等による被害防止を行っていましたが、「柵でイノシシを追い払っても、他の地区で被害が出たんじゃないか」といって、数人を減らそう！との思いで、曾子明さんを中心とした有志7名が、一人5万円ずつ出し合い、箱ワナを自作し、イノシシの捕獲を始めました。最初の頃は、ワイヤーの釣り糸では餌だけを食べられてしまうので、踏み込み式の仕掛けに変えてみるなど、知恵比べの繰り返しだったようです。

こうした努力の成果もあって、5年前には集落の約3分の2が参加する「相川・梨沢イノシシ被害対策会」が立ち上がりました。現在では、自作した箱ワナを26カ所に設置し、役員を中心とした約15名で箱ワナの見回りから捕獲埋設まで行っており、昨年度は14頭を捕獲しました。



カメラ付きの箱ワナの前で説明する事務局長の星野氏

また、最近では環境調査会社や警備会社と協力して、暗視カメラによる行動観察やカメラから携帯電話に画像転送できる監視装置の導入なども行い、捕獲頭数の増加につながっています。事務局長の星野克己さん（千葉県指導農業者）によると、「イノシシ捕獲の当面の悩みは、捕まえた後の処理の問題です。原発事故以来、肉としての流通は出来なくなってしまったので、今は埋設しています。この作業は重労働なので、何か別の方法で処分出来れば助かります。あとは、後継者づくりですかね」と語られていました。（大塚・川名）

補助事業を活用した木更津市笹子地区・木更津市大成地区の取組み

集落ぐるみで話し合い、補助事業を活用し、イノシシを集落に寄付けない効果的な取組みを実施した2地区を紹介いたします。

木更津市笹子地区と隣接する大成地区は、山間部に近接し、水田のほとんどが山あいの谷津田です。

笹子地区大関揚水組合は、近年イノシシの被害が激化したため、県単補助事業の「獣害に負けない農村集落づくり事業」及び国庫事業を活用し、約7haの水田にワイヤーメッシュ柵等を約7.5kmと箱ワナを設置することで防護と捕獲に取り組んでいます。

また、大成地区第四揚水組合は、水稲と農地の掘り起こし被害が目立ってきた時点で早めの対策が必要と判断し、笹子地区と同様の補助事業を活用し、ワイヤーメッシュ柵約1kmと箱ワナを設置しました。

補助事業の紹介

イノシシ等の獣害から農作物を守るために防護柵や箱ワナの設置をする場合、国庫及び県単の補助事業を活用することがあります。受益農家3戸以上等補助要件がありますが、事業を希望される方は、お住まいの市の農林担当課又は農業事務所企画振興課までお問い合わせください。（企画振興課 TEL:0438-25-0107）



設置された箱ワナ(左)とワイヤーメッシュ柵(右)

防護柵は設置した時点から対策の始まりです。こまめな草刈り作業や柵の補修、隠れ家を作らせないための環境整備も同時に行い、捕獲ワナの見回り等、一部の人が負担が集中しないよう集落ぐるみで協力しあい、獣害に負けない集落を維持し続けていくことが大切です。（企画振興課 山口）

地域で始めよう イノシシ対策

農作物を荒らすイノシシの被害は、君津地域4市に及び、深刻な問題になっています。そこで今回は、イノシシ被害への技術対策と君津地域での先進事例をご紹介します。

イノシシを防ぐために 習性から対策を考える

《イノシシの習性は？》

行動 イノシシは集落の耕作放棄地や森の辺縁部に住みつき、1〜4km四方の範囲を群れで行動します。臆病な性格なため、集落の近くなどでは人を避け、夜に行動する傾向があります。また、木や竹に背中や泥の擦りつけを行います。

食性 雑食性で、ドングリやタケノコのみならず、ヘビや昆虫類も採食します。地中のえさを探するため、強靱な鼻で土を掘り起こします。

繁殖性 イノシシは1年1産で、春に交尾をし、長い草の生えた荒地地などの中に巣を作り、7〜10月に4〜5頭の仔を出産します。1歳から繁殖可能なため、増加率は極めて高く、条件が良いと5年後には10倍、10年後には130倍にもなると推定されています。

《捕獲するには？》（狩猟免許が必要）**猟銃** 確実性はありますが、可猟区の縮小、ハンターの減少、安全性の問題等により、年々減少傾向にあります。**ワナ** 管理のしやすさや安全性の面でイノシシ対策としては「箱ワナ」が多く普及しています。しかし、ワナの



竹に擦りつけられた泥



掘り返しの跡



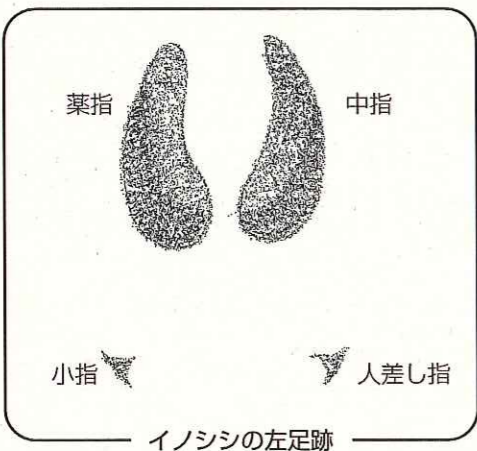
イノシシの糞

作製や購入、設置、日常の点検、捕獲後の殺処分等、大変な労力と経費がかかりますので、個人での取組みは難しく、集落ぐるみでの取組みが効果的です。《被害を防止するには？》**防護柵の利用** 農地を囲う防護柵としては、取り外しが可能な電気柵やワイヤーメッシュ等の恒久柵があります。電気柵は恒久柵に比べると比較的安価に導入が可能です。が、雑草等に触れると電気が流れなくなり、



おとなは、小さな蹄(小指、人差し指)がつくどこの足あともほぼ同じ

イノシシの足



イノシシの左足跡

ただのロープになってしまいうため、設置中はこまめな草刈りが必要ですが、ワイヤーメッシュを使った恒久柵の設置に当たっては、ワイヤーが細いと簡単にイノシシに壊されてしまうため、線径6mm以上のものを使い、掘り起こしによる持ち上げを防ぐため柵の下部を地面に埋める、飛び越えを防ぐため上部を農地の外側に曲げるなどの工夫をすると防護効果が上がります。

荒地の解消 荒地や藪等の物陰が多いとイノシシの隠れ家になり、その周辺の田畑が被害に遭いやすくなります。柵の設置だけでなく、伐採や除草による、見通しの良い環境作りも必要です。（大塚）
監修：千葉県生物多様性センター 浅田正彦氏

シリーズ 君津の産物 を味わう

レタス②

レタスの簡単レシピ

レタスは地中海沿岸が原産地。君津でも栽培者は多く特産品となっています。お手頃な調理方法として

は、毎日の味噌汁のおろし間際にちぎったレタスをいれるとシャキシャキ感が味わえます。また、フライパンにごま油を敷き、さっと炒め、醤油をかけると箸休めになります。さらに手をかけた次のものもどうぞ。

レタスとあさりのワイン蒸し

【材料(2人分)と作り方】

①レタス1/2個を大きめにちぎります。砂抜きしたアサリ200gは手でこすり合わせて洗います。

②鍋にあさりとワイン1/3カップとローリエ1枚を入れ煮立てます。

③煮立ったらレタスを入れしんなりしたら塩・粗挽き黒コショウで味を調えて出来上がりです。

レタスと春雨・鶏肉のスープ

【材料(2人分)と作り方】

①器で鶏挽肉150gと調味料

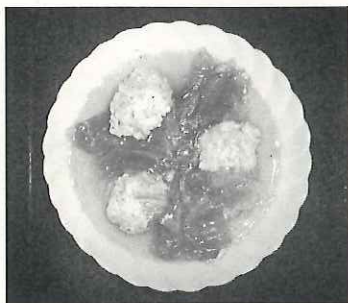
(ネギのみじん切り大さじ2、水・酒・片栗粉各大きさ1/2、生姜汁・塩・コショウ各少々)を手でよく混ぜ合わせ、丸めま

②春雨とレタスは5cm位に切りま

③鍋に水2カップを煮立て(酒大さじ1/2、塩小さじ1/2、鶏ガラスープの素小さじ1/4、コショウ少々)ごま油小さじ1)を入れて煮ま

④①を③に入れ、弱火で3分煮て、春雨、レタスを加え5分位煮て、ごま油を入れて出来上がり。

(川名)



レタスと春雨・鶏肉のスープ

地域農業のリーダー

第37回千葉県農業士・千葉県指導農業士の認証式典

が昨年11月19日に行われ、県下で指導農業士18名、農業士35名が新たに認証されました。

君津地域では、指導農業士に1名、農業士に3名が認証されました。地域農業の発展、後継者の育成及び地域の活性化に向けた活躍が期待されます。



平成25年度(第37回)千葉県指導農業士・千葉県農業士認証式典

(右から鈴木伸江氏、宮嶋恒久氏、堀越利治氏、遠藤丈博氏)

○指導農業士

堀越 利治氏(袖ヶ浦市)

ダイコン、ネギを中心とした大規模畑作野菜経営を行っています。大手スーパーとの契約取引等に取り組み、その生産物は高く評価されています。

○農業士

鈴木 伸江氏(富津市)

酪農と水稲、野菜の複合経営を行っています。「ぼーそうレンゲの会」の会長を務め、君津地域初の女性農業士となりました。

遠藤 丈博氏(袖ヶ浦市)

シクラメン、ブルーデージー等鉢花の生産を行っています。市場からの評価は高く、また品種育成も手がけています。

宮嶋 恒久氏(袖ヶ浦市)

多品目野菜の直売経営を営み、大手スーパーとの契約取引にも取り組んでいます。農業青年団体では高いリーダーシップを発揮しています。(川名・押田)

明日の農業を担う

人材の育成に向けて

農業経営体育成セミナー

君津農業事務所では、新たに農業をはじめた方(概ね35歳まで)を対象に、農業経営の基本的な知識や技術習得、先進農家の視察や地域の農業者との交流を目的とした農業経営体育成セミナーを開催しています。3

年間の課程を通じて、楽しく仲間づくりをしながら、地域農業の担い手を目指しませんか。農家女子(農家のお嫁さん・娘さん)も大歓迎です。興味のある方は改良普及課までご連絡ください。

(中臺)



農業士指導農業士経営訪問研修の様子